

上 藤田嗣治「旅愁」より
 中 朝倉摂「旅愁」より(左) / 佐野繁次郎「春園」より(右)
 下 佐野繁次郎「春園」より

Riichi Yokomitsu Riichi Yokomitsu Riichi Yokomitsu

横光利一と挿絵展

ごあいさつ

昨年(2008)の10月から今年の4月にかけて、大分合同新聞・夕刊の「名作を読む」欄に、横光利一の「機械」と「春は馬車に乗って」があいついで連載されました。

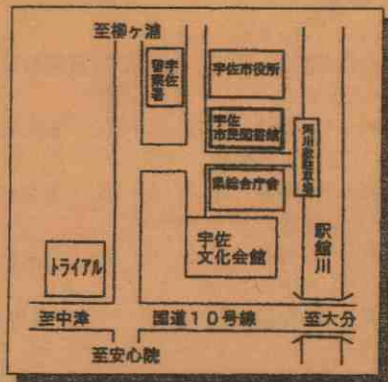
「機械」(昭5)は、横光利一が「感覚から心理へ」と作風を変えたといわれる時期の代表作で、当時、評論家としてデビューしたばかりの小林秀雄が「世人の語彙にはない言葉で書かれた倫理書だ」と評したことで有名になった話題作です。

一方、「春は馬車に乗って」(大15)は、横光利一が文壇にデビューした直後の作品で、結核に病む妻と看病する夫の新婚生活を、新感覚派と呼ばれた時代の表現を駆使して書いた代表作の一つです。

大分合同新聞の連載にあたり、新たに挿絵を担当した画家の岩尾善幸さん(臼杵市在住)から、このたび、原画をお借りすることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。過去に横光作品の挿絵を担当したことのある藤田嗣治、佐野繁次郎、朝倉摂らの作品とあわせて紹介します。

平成21(2009)年10月24日

宇佐市民図書館
 渡網記念ギャラリー



平成21(2009)年10月24日/編集・発行 宇佐市民図書館
 大分県宇佐市上田 1017-1 TEL.0978-33-4600

Riichi Yokomitsu Riichi Yokomitsu Riichi Yokomitsu

横光利一と挿絵展

Riichi Yokomitsu Riichi Yokomitsu Riichi Yokomitsu



岩尾善幸さん画「機械」(横光利一作)の挿絵から
 連載第2回の挿絵『大分合同新聞』(夕刊)2008年10月18日掲載

2009.10.24~12.27

10:00~18:00(日曜のみ ~17:00)
 休館日...毎週月曜日・月末木曜日

宇佐市民図書館
 渡網記念ギャラリー

横光利一の「機械」「春は馬車に乗って」に挿絵を描いた

岩尾善幸さん

1953年、津久見市生まれ。1993年、自由美術展で顕光賞。1994年、第28回・文化庁現代美術選抜展。1996年、第39回・安井賞展。2001年、福岡市美術館で個展。2002年、ギャラリー山口、2003年5月、東京で個展。2003年、岩尾善幸展「生動する形」(大分市美術館)、2003年、「希望する画家・私たちの態度」展(大分県立芸術会館)、2007年、「新潮流展」(大分県立芸術会館)、2009年、「現代アート交流展」(アートプラザ)、「岩尾善幸の夢の中へ」



展(白杵市中国陶芸美術館)などに出品。著書に、絵本『ゴーリューの空』、『ありのうた』(ともに文芸社)ほか。現在、白杵市在住。絵画教室アトリエIWAO主宰。日本美術家連盟会員。自由美術協会会員。新潮流の会会員。



岩尾善幸・画「機械」より第16回
〔大分合同新聞〕夕刊・2009年2月7日掲載



岩尾善幸・画「春は馬車に乗って」より第2回
〔大分合同新聞〕夕刊・2009年3月7日掲載

Riichi Yokomitsu Riichi Yokomitsu Riichi Yokomitsu

横光利一と挿絵展

出品目録

【岩尾善幸さん】

- 「岩尾善幸さんプロフィール」
- 「機械」挿絵原画(全17枚)
- 「春は馬車に乗って」挿絵原画(全8枚)
- 「機械」連載紙『大分合同新聞』(夕刊)切抜き
2008年10月11日～2009年2月14日(全17回)
- 「春は馬車に乗って」連載紙『大分合同新聞』(夕刊)切抜き
2009年2月21日～4月18日(全8回)

【佐野繁次郎】

- 「佐野繁次郎プロフィール」(2点)
 - ※横光利一と(昭和11年)
 - ※佐野が店舗設計、ロゴなどをデザインした六本木のフレンチレストラン「レンガ屋」で
- 「春園」挿絵から・複製(6点)
 - 松下家で林次郎を待つ泰太郎
「春園」(横光利一作)挿絵 昭12・5「主婦之友」
 - 銀座の裏通り カフェ「コルト」の前
「春園」(横光利一作)挿絵 昭12・6「主婦之友」
 - 泰太郎の部屋の泰太郎と美紀子
「春園」(横光利一作)挿絵 昭12・9「主婦之友」
 - 銀座松屋の泰太郎
「春園」(横光利一作)挿絵 昭12・10「主婦之友」
 - 着物姿の美紀子
「春園」(横光利一作)挿絵 昭12・12「主婦之友」
 - 左から、耶奈子、弥生、美紀子
「春園」(横光利一作)挿絵 昭12・12「主婦之友」
- 横光利一宛て佐野繁次郎書翰と封筒・年月不明(2点)
- 佐野繁次郎画「横光利一デススケッチ」

【藤田嗣治】

- 「藤田嗣治プロフィール」(2点)
- 「旅愁」挿絵から・複製(8点)
 - セーヌ川よりエッフェル塔を臨む
「旅愁」1(横光利一作)挿絵 昭12・4・4「東京日日新聞」
 - マルセーユのノートルダム
「旅愁」10(横光利一作)挿絵 昭12・4・25「東京日日新聞」
 - 左から久慈、アンリエット、矢代
「旅愁」24(横光利一作)挿絵 昭12・5・18「東京日日新聞」
 - アンリエットにフランス語を習う矢代
「旅愁」30(横光利一作)挿絵 昭12・5・28「東京日日新聞」
 - パリの老舗カフェ、ル・ドーム
「旅愁」33(横光利一作)挿絵 昭12・6・1「東京日日新聞」
 - 夜の凱旋門(パリ)
「旅愁」46(横光利一作)挿絵 昭12・6・24「東京日日新聞」
 - 雷鳴に耳ふさぐチロルの千鶴子
「旅愁」59(横光利一作)挿絵 昭12・7・25「東京日日新聞」
 - チロルで氷河に向かう矢代と千鶴子
「旅愁」65(横光利一作)挿絵 昭12・8・6「東京日日新聞」

Riichi Yokomitsu Riichi Yokomitsu Riichi Yokomitsu

横光利一と挿絵展

出品目録

【朝倉 授】

- 「朝倉授プロフィール」
- 「旅愁」挿絵から・複製《挿絵で読む『旅愁』》(30点)
※旺文社文庫版『旅愁』(上・下)からの挿絵複製と本文紹介

【関係書籍など】

- 横光利一『機械』初版(昭5・白水社)の復刻本
装丁・佐野繁次郎
- 横光利一『春は馬車に乗って』(昭2・改造社)復刻本
- 横光利一『機械・春は馬車に乗って』(昭44・新潮社)
- 横光利一『旅愁』全(昭30・改造社)
装丁・佐野繁次郎
- 横光利一『旅愁』第1～3篇(昭15～18・改造社)
装丁・佐野繁次郎
- 横光利一『春園』(昭13・創元社)装丁・佐野繁次郎
- 横光利一集『春園』(昭15・創元社)装丁・佐野繁次郎
- 横光利一『春園』普及版(昭13・創元社)
- 横光利一『春園』戦後版(昭21・富士書店)
- 筒井康隆・朗読「機械」横光利一作(新潮カセットブック)
- 岩尾善幸・絵『麻田剛立』(平15・大分県教育委員会)
- 岩尾善幸・絵『ありのうた』(平19・文芸社)
- 岩尾善幸・絵『ゴーリューの空』(平19・文芸社)
- 「佐野繁次郎展」チラシ(平17・東京ステーションギャラリー)
- 『佐野繁次郎装幀集成』(平20・みずのわ出版)
- 『佐野繁次郎展』(平17・東京ステーションギャラリー)
- 近藤史人『藤田嗣治「異邦人」の生涯』(平15・講談社)
- 湯原かの子『藤田嗣治 パリからの恋文』(平18・新潮社)
- 藤田嗣治画文集『猫の本』(平15・講談社)
- 「芸術新潮」特集・藤田嗣治の真実(平18・新潮社)
- 藤田嗣治『腕(ブラ)一本』(平17・講談社文芸文庫)
- 「レオナルド・フジタ展」チラシ(昭63・東京都庭園美術館)

【その他】

- 横光利一筆・額装「道元禅語」
- 横光利一筆・軸装「鮎」
- 横光利一写真(4点)

【合計125点】

◆会場で、筒井康隆朗読の「機械」(新潮カセット)を聞くことができます。